

令和4年度 第2回竹林整備隊

事業報告書

- 1 実施日時 令和4年6月4日(土) 9時30分から12時00分まで
- 2 場所 静岡市駿河区向敷地(竹材活用研究会アルケミスト様管理地)
- 3 内容 竹の伐採体験、竹破碎機の実演ほか
- 4 参加者 16名
- 5 協働団体 竹材活用研究会アルケミスト
- 6 市職員 環境創造課 4名
- 7 スケジュール
 - 9:00 参加者受付開始
 - 9:30 参加者集合し、活動場所へ移動
 - 10:00 市職員、講師から活動にあたっての注意事項説明
 - 10:15 講師による伐採の実演指導
 - 10:30 竹の伐採体験
 - 11:30 伐採体験の終了
 - 12:00 解散

8 活動内容

【集合～活動開始】



- ・現地には駐車場がないため、長田北小学校の駐車場をお借りし、集合場所とした。集合場所にはアルケミストの滝井様も来ていただき、参加者とともに整備地に向かった。
- ・活動場所に到着後は市から竹林整備隊を行っている理由、活動時の注意事項等の説明を行った。
- ・講師からはスタッフの紹介、一日の流れ、活動地に自生している竹の種類や特徴などを説明していただいた。実際に幼竹を用意し、参加者に説明していただいたため、参加者も写真を撮ったり、質問をしたりと興味関心が高い様子が見られた。

【活動中】



- ・伐採場所につくと講師から竹の伐採の実演をしていただいた。また、参加者からは腰丈ほどの位置で竹を刈り、残している理由について質問があったため、講師から「腰丈程で竹を残しておくとも腐って、茎から折れるようになるためわざと伐採直後に茎から掘り起こさない」との説明を行っていた。
- ・講師の実演後は参加者が一人ずつ伐採体験を行った。竹を倒す方向を決めるための縄かけも実際に複数名体験を行ったが、参加者からはとても難しく、一本の竹を切るのも大変との声が聞かれた。



- ・竹の伐採の順番を待つ間、参加者は玉切りや枝打ちを各自行っており、参加者同士でコミュニケーションを取り合う姿も散見された。
- ・体験をしている中で女性の参加者2名が実際に竹林整備隊に入りたいとお話をいただいたため、お住まいの地域の竹林整備隊を紹介することとなった。

【所見】

- ・事前打ち合わせの段階でアルケミスト様と当日の流れや場所、内容を話し合うことが出来たため、移動から伐採体験までスムーズに行うことが出来た。
- ・参加者の中には第一回の竹林整備隊に参加いただいている方もいたため、お話を伺うと「地区や場所によって竹林整備の方法も違うので色々な団体の活動を勉強したい」と話されており、竹林整備隊加入希望の方も出るなど収穫の多い活動となった。
- ・「しぜんたんけんてちょう」をみて問い合わせをされた方もいたため、広く周知、案内するためにも「しぜんたんけんてちょう」も積極的に活用していきたい。
- ・活動場所の中でも移動があり、荷物を置いていく場面があった。見守りのスタッフがいらない状況もあるため、最低限携帯出来る貴重品のみ持参するように決定通知を送る段階で周知していく。